

『振り込め詐欺』にご注意を！

全国でオレオレ詐欺・還付金詐欺が多発しています。あなたの大切なお金はあなた自身が守りましょう。

【オレオレ詐欺】

犯人は、あなたのお子や夫など家族になりすましたり、警察官や弁護士などを装って、言葉巧みにあなたを被害者に仕立て上げます。

あなたのお子さん、お孫さんなど家族や身内の方は、自分のことを「オレオレ」と言いますか？

電話で「オレオレ」と言われても、一旦電話を切って、本人に確認をしましょう！相手方の話をうのみにしてはいけません。



【還付金詐欺】

社会保険事務所や税務署等の公的機関を装って、ATMを操作させ知らないうちに口座にお金を送金させる手口です。

公的機関が還付金等の受取りのためにATMの操作を求めることはありません。

「携帯電話を持ってATMへ」「私の指示通りに操作してください」と言われたら、間違いなく還付金詐欺です。

おかしいと思ったら、あわてず落ち着いて**まず事実の確認と相談**をしてください。「私は大丈夫」という思い込みが一番危険です。

◆問い合わせ先

住民課 生活環境交通担当
☎ 6578 有線 7784
東近江警察署 生活安全課
☎ 240110

感雑向綿

日野町長 藤澤直広

NHK朝の連

続テレビ小説「だんだん」が始まりました。

ドラマの舞台は島根県。「宍道湖に沈む夕陽を見なければ一日

が終わった気がしない」というセリフがありました。故郷を思う気持ちの表れだと思います。「だんだん」とは島根弁で「ありがどう」という意味だそうです。会話の中にもお国訛りがでてきて心が温かくなります。ところで、島根県は、明治9年に鳥取県を併合しました。鳥取県民が再分離を求め再び鳥取県が成立したのは明治14年9月12日で、「鳥取県民の日」となっています。それぞれの地域にはそれぞれ

の熱い思いがあるのですね。「熱い思い」といえば、会津も

熱い地域です。蒲生氏郷公のゆかりで交流をしている会津若松市の会津祭りに参加しました。東京から東北新幹線「MAXやまびこ」

は2階建て車輛。都心のビル街をぬけ利根川をわたると2階の車窓から遠くに山なみ、近くに稲田を眺めることができます。100分

で郡山駅へ、そして車で70分、

会津若松市内へ。会津若松市は、白虎隊で有名な明治維新につながる戊辰戦争が住民の胸に強く刻まれています。会津祭りの藩公行列

では「会津藩の誇りと先人への思いを胸にイザ出陣」というプラカードがありました。また、会津藩は、最後まで徳川幕府に忠節を尽くしたという思いから、今でも「薩摩、長州を許さない」という言葉が出るようです。決して福島県民が鹿兒島県民や山口県民に恨みを抱いているとは思いませんが、故郷の歴史に熱い思いをもっていることは確かです。冬の厳しい寒さに負けない強い気風があるのだと思います。

今、国政の場などで都道府県を「合併」して10程度の「道州」にしようという「道州制」の議論が行われています。それぞれの地域にはそれぞれの歴史があり気風があります。何でもかんでも大きくすればいい、「効率的」ならいいというものではありません。そこに住む住民が熱い思いを持つことが求めているのではないのでしょうか。